

愛する故郷 小笠原



令和6年7月 文責：校長 佐野紳二

小笠原小学校の7月

とても暑い日が多かった今年の7月。学校でも水分補給をこまめにする，エアコンを適正に使用するなど，熱中症対策に力を入れながら教育活動を進めてきました。7月の小笠原小学校の子どもたちのようすを紹介します。

すなや土となかよし（1年生）



校外学習・オオムラサキセンター（2年生）



1，2年生は主に生活科の学習で，季節を感じながらいろいろな体験をしました。1年生は校庭で砂や土，水を使った遊びをしました。2年生はオオムラサキセンターでたくさんの昆虫と触れ合ってきました。

ひもをつないで（3年生）



新聞づくりに挑戦！（4年生）



裁縫に挑戦！（5年生）



3～5年生はいろいろなものづくりに挑戦しました。みんなとても楽しそうでした。

校外学習・市内古墳めぐり（6年生）



授業参観（道徳公開）・教育を語る会



昨年は2学期に実施した道徳公開・教育を語る会ですが、今年は6月末に実施しました。教育を語る会では市教育委員会・文化財課の保阪太一さんを講師にお招きし、「楡形地区の水害の歴史から考える防災・減災」をテーマにお話をいただきました。歴史を知ることで、これからの防災・減災について考えるよい機会となりました。

1学期終業式



小笠原小学校は7月19日に1学期の終業式を終え、8月28日まで、40日間の夏休みに入っています。(終業式の様子は山日YBSの取材があり、夕方のニュースで紹介されました)

夏休み中、子どもたちは家庭や地域の中で生活する時間が長くなります。夏休みの生活については学校でも指導しましたが、地域の皆様も子どもたちに出会った際には、あいさつや交通安全にかかわるご指導をよろしくお願いいたします。

今年の夏も暑い日が多くなりそうです。皆様、ご自愛ください。